

(講座) 臨床薬学  
(氏名) 中嶋幹郎

(研究室) 病院薬学  
(職名) 教授

### 【研究テーマ】

1. 後発医薬品の適正使用に関する基礎的および臨床薬学的研究
2. 臨床での調剤・医療コミュニケーションを基盤とする実学研究
3. 医薬品の薬効・副作用に関する評価法の開発

### 【発表論文】

#### A 欧文

##### (A-a) 原著論文

1. J. Nakamura, S. Fumoto, K. Ariyoshi, Y. Kodama, J. Nishi, M. Nakashima, H. Sasaki, K. Nishida: Unilateral lung-selective gene transfer following the administration of naked plasmid DNA onto the pulmonary pleural surface in mice, *Biol. Pharm. Bull.*, **30**, 729-732 (2007). (IF:1.522)
2. J. Nakamura, S. Fumoto, R. Kawanami, Y. Kodama, J. Nishi, M. Nakashima, H. Sasaki, K. Nishida: Spleen-selective gene transfer following the administration of naked plasmid DNA onto the spleen surface in mice, *Biol. Pharm. Bull.*, **30**, 941-945 (2007). (IF:1.522)
3. S. Fumoto, Y. Nakashima, K. Nishida, Y. Kodama, J. Nishi, M. Nakashima, H. Sasaki, N. Otsuka, J. Nakamura: Evaluation of enhanced peritoneum permeability in methylglyoxal-treated rats as a diagnostic method for peritoneal damage, *Pharmaceut. Res.*, **24**, 1891-1896 (2007). (IF:2.848)
4. K. Nishida, M. Okazaki, R. Sakamoto, N. Inaoka, H. Miyake, S. Fumoto, J. Nakamura, M. Nakashima, H. Sasaki, M. Kakumoto, T. Sakaeda: Change in pharmacokinetics of model compounds with different elimination processes in rats during hypothermia, *Biol. Pharm. Bull.*, **30**, 1763-1767 (2007). (IF:1.522)
5. T. Nakamura, M. Yamada, M. Teshima, M. Nakashima, H. To, N. Ichikawa, H. Sasaki: Electrophysiological characterization of tight junctional pathway of rabbit cornea treated with ophthalmic Ingredients, *Biol. Pharm. Bull.*, **30**, 2360-2364 (2007). (IF:1.522)

#### B 邦文

##### (B-a) 原著論文

1. 中嶋幹郎、山下千恵、田代浩幸、川原利春、永田修一、中村 博：処方せん様式変更に伴う後発医薬品の利用状況の変化と薬剤師の意識、*ジェネリック研究*、**1**、111-117 (2007).

(B-b) 総説

1. 中嶋幹郎：「伝える」心はありますか？薬剤師に求められるコミュニケーションの心掛け、ファーマネクスト、2007年5月号、4-7 (2007).

**【学会発表】**

A 国際学会

(A-b) 一般講演

1. H. Sasaki, R. Araki, M. Nakashima, H. To, T. Kitahara: Influence of obesity on amiodarone pharmacokinetics in long-term therapy: multiple-trough screen by population pharmacokinetic modeling technique, 42nd ASHP midyear clinical meeting, Las Vegas, USA, December 2007

B 国内学会

(B-a) 招待講演

1. 中嶋幹郎：新人薬剤師に必要なコミュニケーション力とは、第5回九州山口薬学会ファーマシューティカルケアシンポジウム、平成19年2月、長崎

(B-b) 一般講演

1. 手嶋無限、柏木 香、麓新太郎、西田孝洋、中村純三、中嶋幹郎、藤 秀人、一川暢宏、佐々木均：リポソーム膜修飾によるprednisolone血中動態制御の試み、日本薬学会第127年会、平成19年3月、富山
2. 中嶋幹郎、山下千恵、大脇裕一、西田孝洋、中村純三、田代浩幸、川原利春、永田修一、中村 博：後発医薬品の利用促進に対する処方せん様式変更の影響、日本薬学会第127年会、平成19年3月、富山
3. 大脇裕一、藤 秀人、佐々木均、柳原克紀、河野 茂、寺菌英之、金子智行、安田賢二、中嶋幹郎：心筋拍動細胞ネットワークに対する抗不整脈薬の作用、日本薬学会第127年会、平成19年3月、富山
4. 中嶋幹郎、山下千恵、田代浩幸、川原利春、永田修一、中村 博：処方せん様式変更に伴う後発医薬品の利用状況の変化、第1回日本ジェネリック医薬品学会学術大会、平成19年5月、東京
5. 手嶋無限、柏木 香、西田孝洋、中村純三、中嶋幹郎、藤 秀人、一川暢宏、佐々木均：Polyethyleneimine (PEI) 誘導体合成とその遺伝子導入ベクターとしての可能性の検討、第23回日本DDS学会、平成19年6月、熊本
6. 和田光弘、宮崎長一郎、大山章久、田代浩幸、竹内理恵、西村美穂、藤島さとみ、山形浩介、濱田光洋、池田理恵、大脇裕一、中嶋幹郎、坂本省司、中島憲一郎：インターネットを利用した地域薬剤師のための患者指導支援データベース「POS World」の構築、第70回九州山口薬学大会、平成19年9月、熊本

7. 大脇裕一、藤 秀人、佐々木均、柳原克紀、河野 茂、寺菌英之、金子智行、安田賢二、中嶋幹郎：心筋拍動細胞ネットワークに対する抗不整脈薬の作用-新規薬物スクリーニング法の開発とその応用-、第 17 回日本医療薬学会年会、平成 19 年 9 月、前橋
8. 宮崎長一郎、大山章久、田代浩幸、竹内理恵、西村美穂、藤島さとみ、山形浩介、濱田光洋、池田理恵、大脇裕一、和田光弘、中嶋幹郎、坂本省司、中島憲一郎：地域薬剤師と大学の連携による症例Webデータベース「POS World」の構築、第 40 回日本薬剤師会学術大会、平成 19 年 10 月、神戸
9. 西 順也、麓伸太郎、石井啓樹、兒玉幸修、中嶋幹郎、佐々木均、中村純三、西田孝洋：マウス胃漿膜表面からのplasmidDNA取り込み機構の解析、第 24 回日本薬学会九州支部大会、平成 19 年 12 月、福岡
10. 石井啓樹、麓伸太郎、西 順也、兒玉幸修、中嶋幹郎、佐々木均、中村純三、西田孝洋：PlasmidDNAのラット胃漿膜表面滴下投与方法による胃選択的な遺伝子導入、第 24 回日本薬学会九州支部大会、平成 19 年 12 月、福岡
11. 大脇裕一、藤 秀人、佐々木均、柳原克紀、河野 茂、寺菌英之、金子智行、安田賢二、中嶋幹郎：オンチップ心筋細胞計測技術を用いた新規薬物スクリーニング法の開発とその応用、第 1 回次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム、平成 19 年 12 月、東京

#### 【特許】

1. 上松聖典、北岡 隆、佐々木均、中嶋幹郎、手嶋無限：硝子体可視化剤、特開 2007-106704 (2007 年 4 月 26 日)

#### 【学会役員等】

1. 日本医療薬学会評議員
2. 日本 TDM 学会評議員
3. 日本ジェネリック医薬品学会評議員

#### 【過去の研究業績総数】

原著論文	(欧文)	68 編	(邦文)	27 編
総説	(欧文)	1 編	(邦文)	4 編
著書	(欧文)	1 編	(邦文)	7 編
紀要・その他	(欧文)	1 編	(邦文)	21 編
特許		1 件		